

株主のみなさまへ

## 第100期 第2四半期報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

## ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに当社グループの第100期第2四半期（2018年4月1日～9月30日）における営業概況と通期の見通しについてご報告させていただきます。

株主のみなさまには、今後とも倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申しあげます。

2018年12月

代表取締役社長 片岡 和喜



## 当第2四半期の営業概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、自然災害による減産や通商に関する懸念はあるものの、概ね堅調に推移しました。半導体関連装置及び自動車の生産が堅調な状況にあり、生産増や省人化のための設備投資においても増加基調にありました。個人消費については、天候が不順であったことから、一部で若干影響が見られましたが、高額商品などにおいて好調に推移しました。世界経済においては、米国と中国の貿易摩擦の激化や新興国からの資本逃避が懸念材料となっています。このような環境の中、米国では減税効果などもあり、雇用・所得や資産残高の増加により、経済は好調に推移しています。欧州では輸出、生産ともに堅調に推移しましたが、英国のEU離脱など景気の下振れが懸念材料となっています。一方、中国では、経済成長率が2四半期連続で低下し、成長の鈍化が見られましたが、自動車など一部を除き消費は堅調な状況で推移しました。しかし、米国と中国双方で実施した追加関税の影響により、輸出入が伸び悩む可能性があるなど、経済成長は不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループの販売構成比が高い電子・半導体業界では、IoTやAIの広がり、車載用電子部品の生産が好調であったことから、関連工具の販売は増加しました。しかし、電着ダイヤモンドワイヤについては、主な販売先である中国市場で太陽光発電向けの補助金削減の動きが見られるなど、市場環境が大きく変化したことにより、販売が大きく減少し、全体では前年同期と比べ減少しました。一方、輸送機器業界、機械業界では国内自動車生産や各種機械生産が好調であったことから、両業界における関連工具の販売は前年同期と比べ増加しました。石材・建設業界においては、国内需要の低下により前年同期と比べ減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、

208億75百万円(前年同期比4.8%減)となりました。利益面におきましては、営業利益13億92百万円(前年同期比22.7%減)、経常利益16億78百万円(前年同期比17.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億40百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

## 通期の見通し

当第2四半期累計期間の連結売上高は、太陽電池シリコンウエーハ加工用など電着ダイヤモンドワイヤを除き、各業界向け売上が堅調に推移し、期首予想額をほぼ達成できました。通期の連結売上高については、電着ダイヤモンドワイヤの売上が下期にさらに減少し、期首予想より20億円の減額となる見込みであります。

利益面におきましては、原価低減・経費節減等を図るものの、売上高減少を補いきれず、通期業績予想を次のとおり修正しております。

### 第100期の連結業績・配当予想

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

売上高	41,000百万円	(前期比 9.8%減)
営業利益	2,150百万円	(前期比 53.7%減)
経常利益	2,600百万円	(前期比 48.8%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,750百万円	(前期比 8.4%増)
年間配当金	1株当たり13円	(中間配当6円含む)

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

# 旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

## 電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor



IoTやAIの広がり、車載用電子部品の生産が好調であったことから、関連工具の販売は増加しました。しかし、電着ダイヤモンドワイヤについては、主な販売先である中国市場で太陽光発電向けの補助金削減の動きが見られるなど、市場環境が大きく変化したことにより、販売が大きく減少し、全体では前年同期と比べ減少しました。

売上構成比

35.1%



売上高

7,330百万円



売上高 (単位：百万円)



## 輸送機器業界

Transportation

国内自動車生産が好調であったことから、関連工具の販売は前年同期と比べ増加しました。

売上構成比

23.8%



売上高

4,962百万円



売上高 (単位：百万円)



## 機械業界

Machinery

国内自動車生産や各種機械生産が好調であったことから、関連工具の販売は前年同期と比べ増加しました。



売上構成比

25.5%



売上高

5,314百万円



売上高 (単位: 百万円)



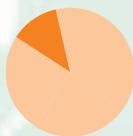
## 石材・建設業界

Stone and Construction

国内需要の低下により前年同期と比べ減少しました。

売上構成比

12.0%



売上高

2,509百万円



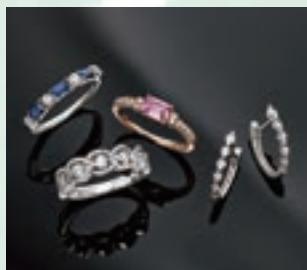
売上高 (単位: 百万円)



## その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は前年同期と比べ減少しました。



売上構成比

3.6%

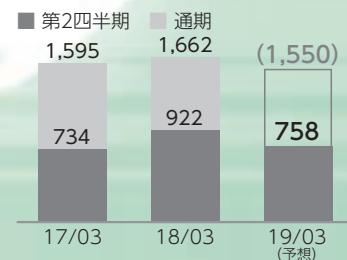


売上高

758百万円



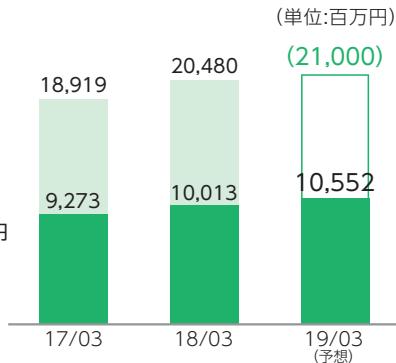
売上高 (単位: 百万円)



日本

■ 第2四半期  
■ 通期

売上高  
10,552 百万円  
売上構成比  
50.5%



台湾

■ 第2四半期  
■ 通期

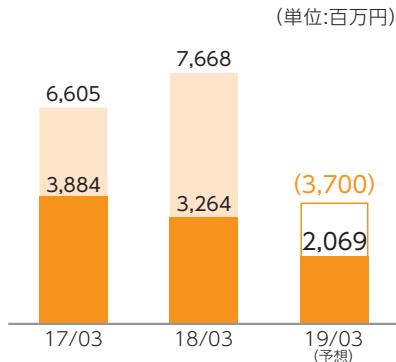
売上高  
1,883 百万円  
売上構成比  
9.0%



中国

■ 第2四半期  
■ 通期

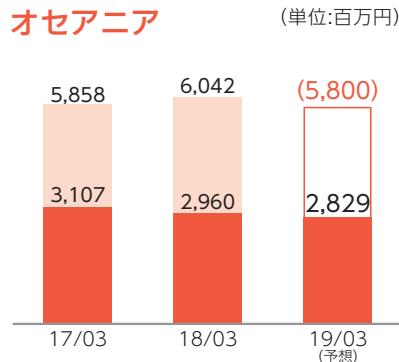
売上高  
2,069 百万円  
売上構成比  
9.9%



その他アジア・オセアニア

■ 第2四半期  
■ 通期

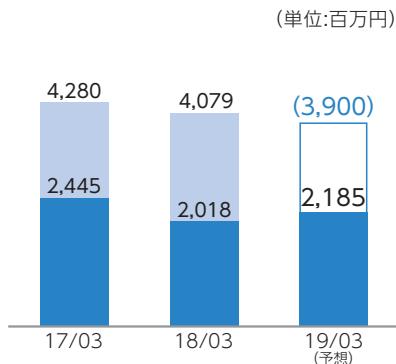
売上高  
2,829 百万円  
売上構成比  
13.6%



ヨーロッパ

■ 第2四半期  
■ 通期

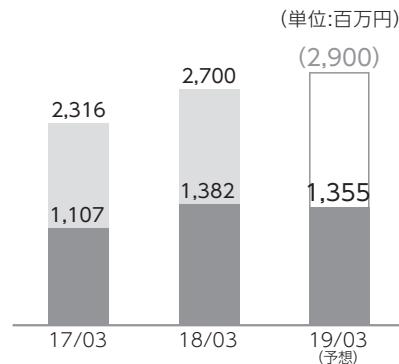
売上高  
2,185 百万円  
売上構成比  
10.5%



その他

■ 第2四半期  
■ 通期

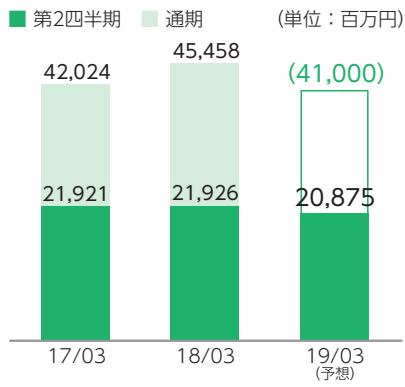
売上高  
1,355 百万円  
売上構成比  
6.5%



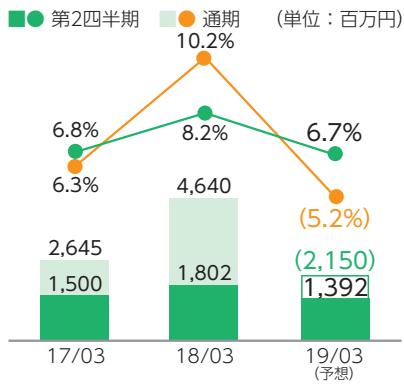
当第2四半期の  
業績のポイント

売上高	20,875百万円	(前年同期比 4.8% 減↓)
経常利益	1,678百万円	(前年同期比 17.9% 減↓)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,240百万円	(前年同期比 16.7% 減↓)
中間配当金	6円	(前年同期比 2円 減↓)

売上高



営業利益及び売上高営業利益率



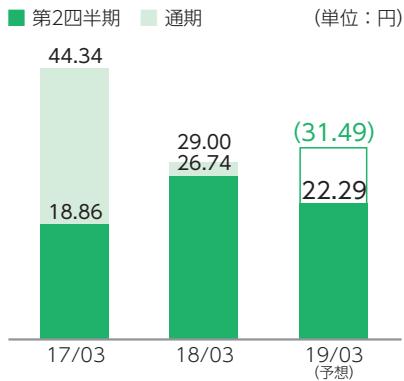
経常利益



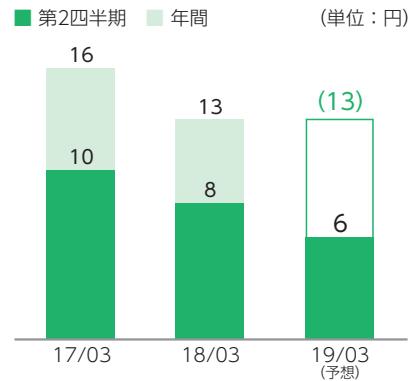
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



## TOPICS 1

## インド代理店の子会社化を決議

当社は2019年4月にインドにある当社の販売代理店SOLWAY INTERNATIONALの株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。同社は2007年の創業以来、当社製品の取扱高を順調に増加させており、インドにおける販売先から高い評価と信頼を得ております。

当社にとって同社のグループ化は、今後とも拡大が見込まれるインド市場での取引拡大に寄与すると考えられます。当社グループといたしまして、インド市場での売上・利益の拡大が見込まれることから、業績拡大に寄与するものと判断しております。

## TOPICS 2

## TYROLIT GROUPとの業務提携

当社はTYROLIT-SCHLEIFMITTELWERKE SWAROVSKI K.G. (チロリット) との間で、2018年10月に業務提携の契約を締結いたしました。同社は、スワロフスキーグループに属し、1919年にオーストリアで設立された研削砥石等の製造・販売を行う会社です。チロリットグループは、世界11カ国に26カ所の製造拠点で4,300人以上の従業員を抱え、約8万種類の製品を製造し、高い品質のもと革新的な製品とサービスをヨーロッパ、北・南米、アジアを中心に提供しております。

両社は製品を相互に供給することで互いの強みを活かし、顧客サービスの向上を目指してまいります。また、取り扱い製品の幅が広がることで、将来の市場変化への対応力も強化してまいります。



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 2018.9.30	前期 2018.3.31
<b>資産の部</b>		
流動資産	37,787	38,029
固定資産	36,132	36,648
有形固定資産	19,686	19,919
無形固定資産	97	107
投資その他の資産	16,347	16,621
<b>資産合計</b>	<b>73,920</b>	<b>74,678</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,854	6,421
固定負債	8,511	8,548
<b>負債合計</b>	<b>14,366</b>	<b>14,969</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	54,697	53,898
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	43,621	42,671
自己株式	△ 155	△ 4
その他の包括利益累計額	3,625	4,522
その他有価証券評価差額金	3,774	3,786
土地再評価差額金	160	162
為替換算調整勘定	△ 301	589
退職給付に係る調整累計額	△ 7	△ 16
非支配株主持分	1,231	1,287
<b>純資産合計</b>	<b>59,553</b>	<b>59,708</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>73,920</b>	<b>74,678</b>

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2018.4.1から 2018.9.30まで	前第2四半期(累計) 2017.4.1から 2017.9.30まで
<b>売上高</b>	<b>20,875</b>	<b>21,926</b>
売上原価	15,411	15,828
売上総利益	5,463	6,097
販売費及び一般管理費	4,070	4,294
<b>営業利益</b>	<b>1,392</b>	<b>1,802</b>
営業外収益	291	244
営業外費用	6	4
<b>経常利益</b>	<b>1,678</b>	<b>2,043</b>
特別利益	19	26
税金等調整前四半期純利益	1,697	2,069
法人税等	385	551
四半期純利益	1,312	1,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	28
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,240</b>	<b>1,489</b>

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2018.4.1から 2018.9.30まで	前第2四半期(累計) 2017.4.1から 2017.9.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,543	3,255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,105	△ 904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 580	△ 424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 218	△ 20
現金及び現金同等物の増減額	639	1,905
現金及び現金同等物の期首残高	18,468	15,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,108	17,182

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <http://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR 

### 株式の状況

発行可能株式総数 190,300,000株  
 発行済株式の総数 55,700,000株  
 株主数 14,862名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,235	5.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,790	3.22
旭ダイヤモンド社員持株会	1,434	2.58
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.49
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,078	1.94
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	1,039	1.87
日本生命保険相互会社	1,039	1.87
旭ダイヤ共栄持株会	979	1.76

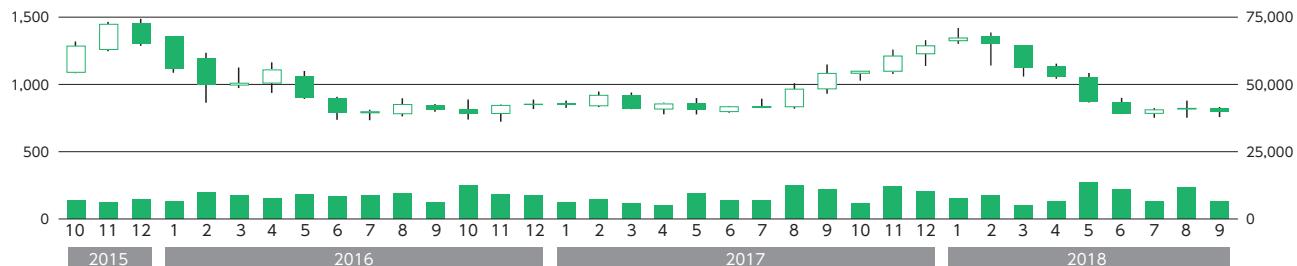
(注)1. 持株比率の計算は、自己株式5,732株を除いて計算しております。

(注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

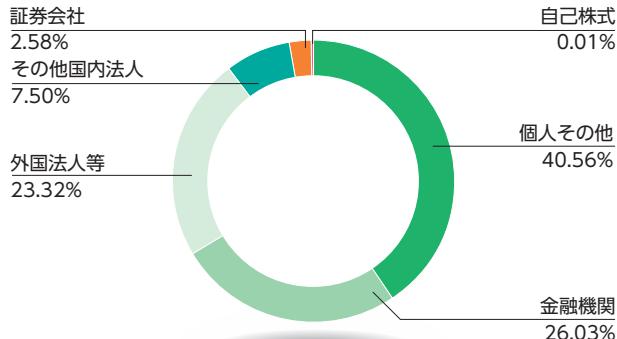
### 株価・出来高推移

(単位：円)  
2,000

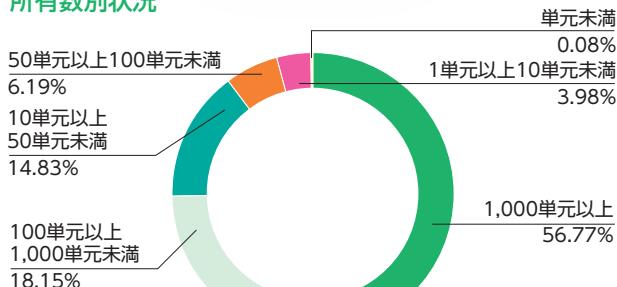
(単位：千株)  
100,000



### 所有者別状況



### 所有数別状況



## 会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社  
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.  
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号  
 設立年月日 1937年10月9日  
 資本金 4,102,188,450円  
 従業員数 1,065名 (連結 2,208名)

## 役員

### 取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	奥井威夫
取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	鈴木徹
取締役	萩原利昌
取締役(社外)	小山修
取締役(社外)	永田新一

### 監査役

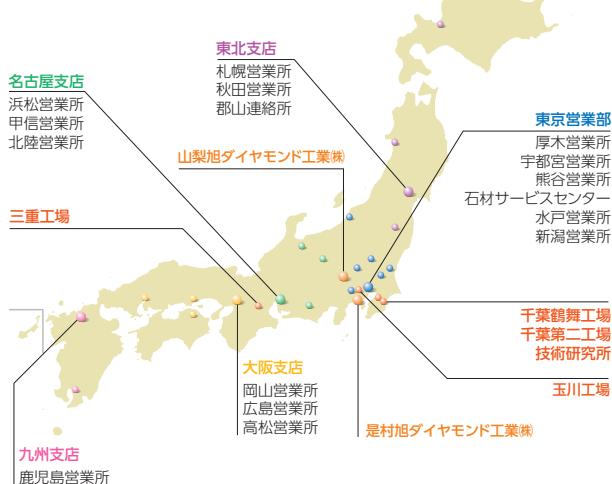
常勤監査役	香山盛夫
監査役(社外)	大高由紀夫
監査役(社外)	川嶋誠人

### 執行役員

常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	阿部英夫
執行役員	原智彦
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	花木永典
執行役員	小浦雅美

## ネットワーク

### 国内



### 海外



駐在員事務所	海外グループ会社	
ヨーロッパ駐在員事務所 (フランス)	上海旭ダイヤモンド工業	(中国)
	台湾旭ダイヤモンド工業	(台湾)
	新韓ダイヤモンド工業	(韓国)
	旭ダイヤモンドタイランド	(タイ)
	旭ダイヤモンドインドネシア	(インドネシア)
	旭ダイヤモンドマレーシア	(マレーシア)
	旭ダイヤモンドオーストラリア	(オーストラリア)
	旭ダイヤモンドアメリカ	(アメリカ)
	旭ダイヤモンドメキシコ	(メキシコ)
	旭ダイヤモンドヨーロッパ	(フランス)
	旭ダイヤモンドドイツ	(ドイツ)
	旭ダイヤモンドスウェーデン	(スウェーデン)

## お知らせ

第100期中間配当金につきましては、「配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。  
また、配当金の口座振込をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますのでご確認ください。

### ■ 中間配当金のお支払いについて

中間配当金 1株につき6円

取扱期間 2018年12月3日(月)から  
2019年 1月4日(金)まで

## 株主メモ

決算と配当金のお支払

毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。

定時株主総会

毎年6月下旬に開催いたします。

定時株主総会の基準日

毎年3月31日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先  
(電話照会先)

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

単元株式数

100株

公告方法

電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.asahidia.co.jp/)  
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



### WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <http://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

